

愛の記念日

ご存知のように明日、10月31日はハロウィンです。

ハロウィンは、古代ケルトの大晦日に由来すると言われています。

古代ケルトの暦では、11月1日が新年で、大晦日の10月31日には人々が仮面を被り、魔除けの火を焚いて食物を捧げて悪霊を送り出したそうです。

この習慣が時代の流れとともに子どもたちだけに多く若者もじややかに楽しむお祭りのハロウィンに変化して来ました。

ハロウィンの当日、子どもたちはお化けや魔女に仮装して、「お菓子をくれなさい、なみくだかお菓子を」と叫びながら家々を訪ねて歩きます。

お菓子とおねだりするのは中世時代の農民が祭り用の食料をもらって歩いたことの名残だと言われています。

10月30日「ふれあい広場」のハロウィンパーティーには、一週間も前からたくさん

ら組の女の子たちに「園長先生はどんな仮装をするの?」と質問せぬにあこがれました。

「昨日、おもと園と父教会帰りのバスの中で、もうおひぐさ。私はね」と、楽しい会話が弾みました。

今日は、近所の方々と合せて8名もの参加申込があり、まだ「親子で楽しむ保育園」にしていただいてると、感謝申し上げます。



「お化け、孫から借りたアレコレで変身した(文章通り変身)私のハロウィンスタイルです。」

※「ボランティア」と理事長に言われてしましました。

11月20日は家族の日です。

子育ての大切さが受け継がれ、多くの人がが子どもを育てる家族の

素晴らしさを支え、ともに子育てと子育てを楽しむ喜びがえなように願う、家族の日。近年まのまの在会的意義が高まると、記念日はほんかと思っています。一年必日か、いろいろな記念日にあつまうのが、一番は、何と言ってもひとりにはあるお誕生日です。正真正銘の愛の記念日です。「家族の日」もまた、愛の日として殊更に大切にしたい記念日です。

松の真保育園の記念日と言え11月3日の創立記念日です。

お支えいただいた皆さま、多くの方々と卒園して行った子どもたち、ご家族への感謝を忘れず、この日もご家族皆様の誕生日と同じように、愛の記念日に位置づけたい。

けるより、松の真の保育の心、おいうえお、子どもを笑顔を守り続けたい、と誓い、新たな11月を迎えます。

園長 福田孝子

H 27 / 11 / 13